



一般社団法人 電波産業会
 Association of Radio
 Industries and Businesses

No.900 2013年9月30日

ARIBの動き

第 89 回規格会議を開催

9月26日(木)に、第89回規格会議を東海大学校友会館(霞が関ビル)において開催しました。

今回は、次に掲げる標準規格の改定4件、技術資料の改定4件について審議され、すべて提案のとおり決議されました。

- 1 IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Report の改定について
- 2 IMT-2000 MC-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Reportの改定について
- 3 LTE-Advanced System ARIB STANDARDの改定について
- 4 特定ラジオマイクの陸上移動局の無線設備(テレビホワイトスペース帯、1.2GHz帯)標準規格の改定について
- 5 地上デジタルテレビジョン放送運用規定技術資料の改定について
- 6 BS/広帯域CSデジタル放送運用規定技術資料の改定について

本規格会議において決議された議案の概要を以下に紹介します。

第 89 回規格会議 標準規格及び技術資料の改定の概要

規格番号	規格名	概要
ARIB STD-T63 Ver.10.10 及び ARIB TR-T12 Ver.10.10	IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Report	本標準規格及び技術資料は IMT-2000 DS-CDMA 及び TDD-CDMA システムに関するものであり、第 88 回規格会議(2013年7月)において Ver.10.00 に改定された。 今回の改定は、3GPP TSG 第 60 回会合(2013年6月オランダ領アルーバ島開催)までに承認されたリリース 4 からリリース 11 (LTE-Advanced 仕様は含まない。)に対応するように改定するものである。
ARIB STD-T64 Ver.6.40 及び ARIB TR-T13	IMT-2000 MC-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Report	本標準規格及び技術資料は、IMT-2000 MC-CDMA システムに関するものであり、第 88 回規格会議(2013年7月)において 2013年3月までに 3GPP2 が制定した仕様及び技術資料をベースに Ver.6.30 へ改定された。 今回の改定は、2013年6月までに 3GPP2 が制定

規格番号	規格名	概要
Ver.6.40		<p>した仕様及び技術資料に対応するように改定するものである。</p> <p>なお、技術資料 ARIB TR-T13 については、新規規格の追加や既存規格の改定はないが、対応する ARIB STD-T64 のバージョンアップに合わせてバージョンを Ver.6.40 に改定するものである。</p>
ARIB STD-T104 Ver.2.10	LTE-Advanced System ARIB STANDARD	<p>本標準規格は、いわゆる第 4 世代携帯電話システムである IMT-Advanced System に関する 2 つの標準規格の内の 1 つである LTE-Advanced System に関するものであり、第 88 回規格会議（2013 年 7 月）において Ver.2.00 に改定された。</p> <p>今回の改定は、3GPP TSG 第 60 回会合（2013 年 6 月オランダ領アルーバ島開催）までに承認されたりリース 10 からリリース 11 の LTE-Advanced 仕様に対応するように改定するものである。</p>
ARIB STD-T112 1.1 版	特定ラジオマイクの陸上 移動局の無線設備（テレビ ホワイトスペース帯、 1.2GHz 帯）標準規格	<p>本標準規格は、無線設備規則第 49 条の 16 に規定される特定ラジオマイクの陸上移動局の無線設備及び無線設備規則第 49 条の 16 の 2 に規定されるデジタル特定ラジオマイクの陸上移動局の無線設備について規定したものである。</p> <p>今回の改定は、不要発射の強度の許容値の見直しなど、総務省における制度整備（告示改正、2013 年 8 月）等に対応するため、行うものである。</p>
ARIB TR-B14 5.3 版	地上デジタルテレビ ジョン放送運用規定技 術資料	<p>本技術資料は、地上デジタルテレビジョン放送の放送局での運用及び地上デジタルテレビジョン放送受信機の機能仕様をとりまとめたものである。</p> <p>今回の改定は、IPTV フォーラムの放送通信連携技術仕様に基づき、第三編（地上デジタルテレビジョン放送データ放送運用規定）の A プロファイルに AIT コントロールアプリケーション連携機能（フェーズ 1）に関する規定を追加するとともに、関数 <code>getBrowserSupport()</code> の引数の運用を明確化するものである。また「用語」の記載を一部変更するものである（運用概要、第四編、第五編、第六編）。</p>
ARIB TR-B15 6.2 版	BS/広帯域 CS デジタル 放送運用規定技術資料	<p>本技術資料は、BS デジタル放送局での運用及び BS デジタル放送受信機の機能仕様、並びに、広帯域 CS デジタル放送局での運用及び BS デジタルと広帯域 CS デジタル放送の共用受信機の機能仕様に関し規定したものである。</p> <p>今回の主な改定は、TR-B14 の改定と同じく、放送通信連携システムに関する改定（フェーズ 1 関係規定の追加）、関数 <code>getBrowserSupport()</code> の引数の運用の明確化及び ARIB の一般社団化に伴う改定である。</p>



第 89 回規格会議の様子

ホンジュラス共和国における地上デジタルテレビ日本方式採用の決定

現地時間 9 月 26 日（木）、ホンジュラス共和国は、同国における地上デジタルテレビ方式の規格として日本方式（ISDB-T）の採用を決定しました。海外での日本方式の採用は 15 ヶ国目になります。

ホンジュラス共和国は、2007 年に米国方式（ATSC）の採用を決定・公表していましたが、本年 1 月のカルドナ国家電気通信委員会（CONATEL）委員長の就任後、方式の再検討が開始され、本年 8 月には日本方式に関する「地上デジタルテレビ国際フォーラム」を開催するなどしてホンジュラス共和国政府内で方式決定についての議論が行われてきたところです。

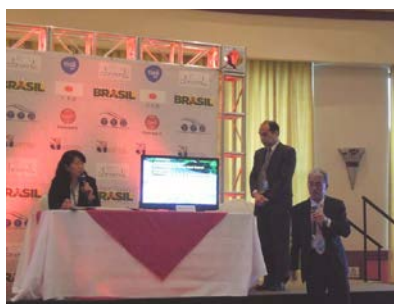
同フォーラムには、ARIB から藤本研究開発本部次長・村上主任研究員が参加して、デジタル放送普及活動作業班（DiBEG）の活動紹介及び緊急警報放送システム（EWBS）の概要説明を行うとともに、EWBS に関連して東日本大震災時の NHK 放送のビデオ紹介を行いました（写真参照）。

また、ARIB/DiBEG の展示ブースにおいても EWBS のデモを行い、CONATEL や COPECO（Comisión Permanente de Contingencias：事態対処委員会）の関係者が多く訪れ、熱心に多くの質問が寄せられたところです（ARIB ニュース No.897 2013 年 9 月 9 日号参照）。

本フォーラムの終了後、CONATEL から地上デジタルテレビ方式を ATSC から ISDB-T に変更する旨のパブリックコメントがなされた後、9月26日（木）に日本方式の採用を決定する旨の CONATEL 規則が官報に掲載されました。

本決定を受け、9月27日（金）に新藤総務大臣は「総務省としては、ホンジュラス共和国の日本方式採用の決定を歓迎するとともにその円滑な導入に対し可能な支援を行っていく考えです。」との談話を発表しております。

ARIB/DiBEG においても今後関係機関と協力して、同国における ISDB-T の導入について協力をを行うとともに、ISDB-T のさらなる世界的な展開・普及に向けた活動を推進します。



8月に開催されたフォーラムにおける藤本次長、村上主任研究員による講演及びデモ展示の様子

第208回技術委員会（放送分野）を開催

第208回技術委員会を開催しましたので、その概要をお知らせいたします。

- 1 日時 平成25年9月25日（水） 午後3時30分から5時25分まで
- 2 場所 当会第2会議室
- 3 議事概要
 - (1) デジタル放送システム開発部会 活動報告
 - (2) 品質評価法調査研究会 活動報告
 - (3) ISDB-T インターナショナルフォーラム技術調和会合及び SET 2013 について
 - (4) ホンジュラス共和国における「地上デジタルテレビ国際フォーラム」について
 - (5) APT 無線グループ第15回会合（AWG-15）の結果について
 - (6) APT WRC 準備会合及び ITU-R 関連会合の主要結果について
 - (7) 第89回規格会議の開催について
 - (8) CEATEC JAPAN 2013 での ARIB の出展について
 - (9) ARIB-DVB 会合報告
 - (10) その他

今週の ARIB 内会議スケジュール（9月30日～10月4日）

9月30日（月）：モバイルコマース部会

10月1日（火）：モバイルパートナーシップ部会

10月4日（金）：第7回無線LANシステム開発部会

ARIBからのお知らせ

平成25年電波の日記念講演会の講演内容のWeb掲載について

本年5月27日に明治記念館で開催された情報通信月間「電波の日記念講演会」の講演内容を、ARIBのWebサイトに掲載いたしましたので、お知らせいたします。

ARIB トップページ (<http://www.arib.or.jp/index.html>) の「平成25年 電波の日記念講演会」のアイコンから以下の講演内容をご覧ください。

- 講演1 「豊かなコミュニケーション社会の発展に向けて
～絶え間ないサービスイノベーションへ～」
KDDI株式会社 代表取締役社長 田中 孝司 氏
- 講演2 「放送の未来をめざして
～街頭テレビからスーパーハイビジョンへ～」
日本放送協会 副会長 小野 直路 氏
- 講演3 「ITSの動向とITS世界会議東京2013」
トヨタ自動車株式会社 技監
ITS Japan 会長 渡邊 浩之 氏
- 講演4 「電波政策の最新動向について」
総務省 総合通信基盤局長 吉良 裕臣 氏

なお、過去（平成23・24年）の講演内容につきましては、ARIB会員ページ内の「電波の日記念講演会」より、閲覧することができます。

平成25年度「受信環境クリーン月間」の実施について (10月1日から10月31日)

今日、テレビ放送やラジオ放送は、誰もが様々な情報を手軽に得るために、また、生活に潤いをもたらすものとして、日常生活に必要不可欠なメディアとなっています。しかし、一方で、テレビ放送受信用ブースター、パソコンなど電気・電子機器からの雑音、無線局からの混信、建造物による放送電波のしゃへい・反射などを原因とする放送の受信障害が発生しています。

ARIBも参加している受信環境クリーン中央協議会（会長：一般財団法人情報通信振興会理事長）は、こうした受信障害の防止を図ることを目的として、昭和29年（1954年）、関係省

庁、関係業界団体などの協力によって設立された任意団体で、現在、地方ブロックを単位とする地方協議会及び地方協議会の内部組織として府県などを単位とする府県連絡会から構成されています。

受信環境クリーン中央協議会では、例年10月1日から10月31日までの間を「受信環境クリーン月間」と定め、各地方協議会及び地方協議会の内部組織である府県連絡会と協力して、全国各地で放送電波の受信障害の防止に向けた活動を集中的に展開しています。

本月間中は、建造物障害対策、テレビ放送受信用ブースター障害対策、電気雑音障害対策、無線局障害対策を柱に、関係団体などの協力を得て、セミナー・講習会の開催、相談所の設置、調査・パトロールを実施するとともに、NHK、民放各社の協力のもとに広報番組を放送するほか、業界紙などへの記事掲載、ポスターの掲示、リーフレットの配布など幅広い周知・広報活動を行っています。

また、本活動の一環として、総務省・文部科学省・NHK・(一社)日本民間放送連盟の後援のもとに、全国の中学生を対象に「受信環境クリーン図案コンクール」を実施し、未来を担う青少年の啓発にも取り組んでおります。

放送電波の受信障害は、時代とともに多様化・複雑化してきています。また、電気機器などの不適切な取扱い、例えばテレビ放送受信用ブースターの感度(利得調整)の上げすぎや配線不良などが原因で広い地域に受信障害を発生させることもあります。

したがって、その防止・解消には、多くの方々の日頃からの注意・取組が不可欠です。

「受信環境クリーン月間」を機に、電波障害の防止になお一層の御理解と御協力をお願いします。

「受信環境クリーン協議会」ホームページ：<http://www.clean-kyou.com/>

連絡先：受信環境クリーン中央協議会事務局

TEL: 03-3940-3981

(一般財団法人情報通信振興会内)

編集後記

本号で、ARIB ニュースが900号を迎えました。1995年(平成7年)に創刊号が発行されてから18年となります。ARIB ニュースは、1年間におよそ50回発行しておりますので、次回のキリ番(きりのいい番号)となる「1000号」は、2015年に発行される見通しです。

末永くご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

(編集子: Oz)



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11F
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp